

(案)

(2) 審議事項

## 前橋市スポーツ推進計画

(令和5年度～令和9年度)

候補1 「スポーツを通じて元気に  
誰もがチャレンジできるまち 前橋」

候補2 「 」

令和5年〇月

前橋市

# 目次

## 第1章 推進計画の基本的事項

- 1 計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 3 計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 4 計画における「スポーツ」の定義・・・・・・・・・・・・・4

## 第2章 本市のスポーツを取り巻く現状

- 1 前橋市の人口推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 2 市民アンケートの傾向と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- 3 スポーツ関係団体等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

## 第3章 基本理念と基本目標

- 1 基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
- 2 基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

## 第4章 施策の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15

- 1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- 2 障がいのある人等のスポーツ活動の促進と環境整備
- 3 子どもスポーツの充実
- 4 競技水準の向上
- 5 スポーツ交流を通じたまちづくり

## 第5章 役割と進行管理

- 1 推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
- 2 進行管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

## ★資料編・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

- 市民アンケート結果
- 市内のスポーツ施設
- 計画策定スケジュール
- スポーツ推進審議会メンバー

## 第1章 推進計画の基本的事項

### 1 計画策定の趣旨

平成23年、国はスポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、スポーツを推進するための基本的な法律として「スポーツ基本法」を制定しました。本法ではスポーツに関する基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務とスポーツ団体等の努力等を明らかにしたこの法律は、スポーツが「世界共通の人類の文化であることを位置づけ、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことが「全ての人の権利であることを明記しました。

また、平成29年には「第2期スポーツ基本計画」、平成4年3月には「第3期」が策定され、国におけるスポーツ施策の具体的方向性が示されました。群馬県においても令和3年に「群馬県スポーツ推進計画（令和3年度～令和7年度）」が策定されています。

平成18年には「スポーツ振興基本計画」を策定し「元気で楽しいスポーツ前橋」を実現するため、「だれもが親しめるスポーツの推進」「競技スポーツの推進」「指導者、団体等の育成」「スポーツ施設の整備拡充」といった4つの基本目標のもと施策を推進してきました。

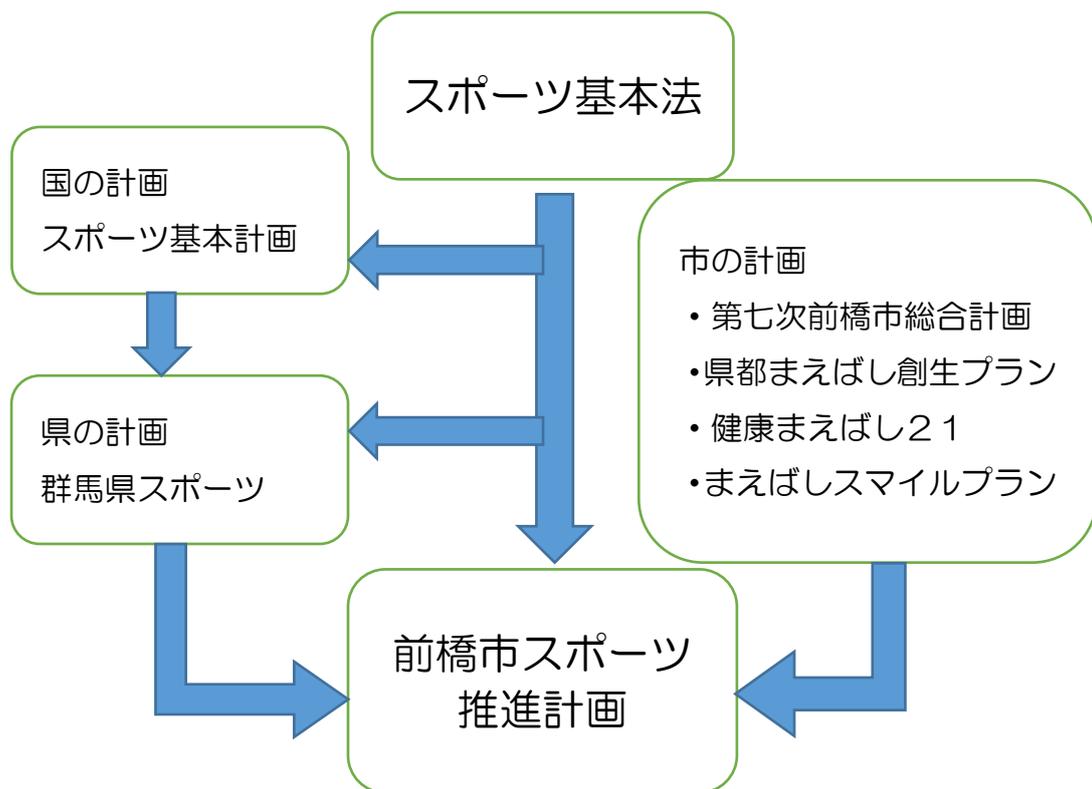
本市では、全ての市民がそれぞれの興味、関心、適正等に応じたスポーツに親しむ社会的気運を醸成し、市民が誇りと愛着を持つことのできる活力と魅力あふれる地域社会の実現を目指し、スポーツを「**する、観<sup>み</sup>る、支える**」という新たな視点に立った政策を実行するため、令和2年にスポーツの推進に関する基本理念を定めた「前橋市スポーツ推進条例」が制定されました。

こうした動きを踏まえ、国の「スポーツ基本計画」「群馬県スポーツ推進計画」を参酌した上で、「前橋市スポーツ推進条例」に定める基本理念実現のため、スポーツの推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進をはかるための「前橋市スポーツ推進計画」を策定します。

## 2 計画の位置づけ

本計画は、前橋市スポーツ推進条例第8条第1項に基づき策定し、スポーツ基本法第10条第1項に定める地方スポーツ推進計画として位置づけます。

本計画の策定及び推進にあたっては、スポーツ基本法、国の「スポーツ基本計画」、群馬県の「群馬県スポーツ推進計画」等の内容を参酌するとともに、「第七次前橋市総合計画」をはじめ、市関連計画と整合性を図ります。



### 3 計画期間

本計画の期間は、令和5年から令和9年までの5年間とします。

なお、本市を取り巻く社会情勢の変化や計画の進捗状況等を分析・評価し、必要に応じた見直しを、適宜行うものとします。

本市スポーツ推進計画と関連計画の計画期間

計画	年度	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
前橋市スポーツ推進計画				▶						令和5年～令和9年まで			
国のスポーツ基本計画			▶						令和4年～令和8年まで				
県のスポーツ推進計画		▶						令和3年～令和7年まで					

#### 4 計画における「スポーツ」の定義

本計画では、「前橋市スポーツ推進条例」に基づき、「スポーツ」を幅広く捉え、競技種目だけにとどまらず、体力づくりや介護予防等を目的とする体操や軽い運動、ウォーキングやジョギング、レクリエーション、幼児の遊びなど、レベルや内容に関わらず身体を使った運動全てを含んで「スポーツ」とします。

また、上記の様な、スポーツを実際に行う「する」スポーツだけではなく、スポーツ観戦などの「みる」スポーツ、そしてスポーツボランティアや指導者など「ささえる」スポーツなどもスポーツとして捉えることとします。

##### 「する」スポーツ

実際に身体を動かしてスポーツ・運動をする

スポーツへの関心を高め、スポーツを「する」ことにより地域の一体感の醸成及び活力の向上を図る。

##### 「観る」スポーツ

スポーツ等を観戦する

スポーツを「観る」視点に立ち、スポーツ施設機能の改善その他の必要な施策を講ずる。

##### 「支える」スポーツ

スポーツに関わるボランティア等に参加する

大会運営を行う団体を補助するボランティア等が活動しやすいようスポーツを「支える」市民の活動を支援する。

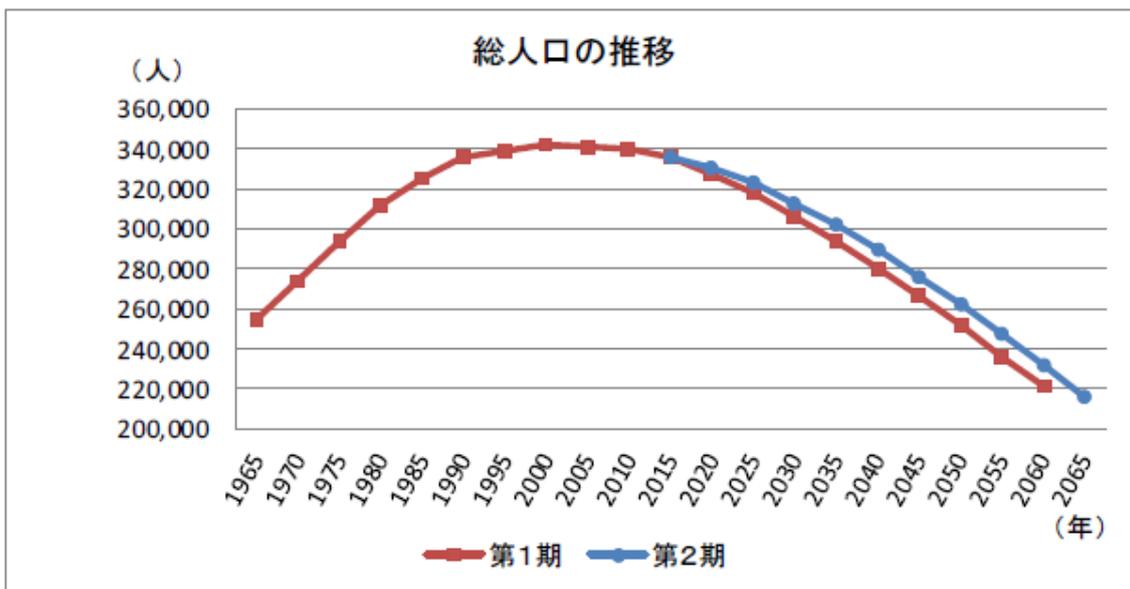
## 第2章 本市のスポーツを取り巻く現状

### 1 前橋市の人口推移

現在までの人口推移を見てみると、1965年(昭和40年)には254,595人であった人口は、高度経済成長期を経ながら増加を続け、2000年(平成12年)には341,738人となりました。

総人口は、2005年(平成17年)以降、減少局面へと突入しており、推計によれば、現状のまま人口減少が進んだ場合、2045年(令和27年)には275,657人、2065年(令和47年)には215,841人となると推計されています。

人口減少、少子高齢化が進展し、社会全体の活力低下が懸念される中で、生きがいづくりや健康増進の観点から今まで以上にスポーツの重要性が高まっています。また、子どものころから運動やスポーツに親しむ機会を増やすことで、運動習慣の定着を促進することがより重要になっています。



資料：第2期県都まえばし創生プラン及び国勢調査

## 2 市民アンケートの傾向と課題（19ページ資料編に掲載）

前橋市では本計画策定にあたり、地域の特性や市民ニーズの動向を踏まえるとともに、市民のスポーツ実施率やスポーツに対する関心を調査するため前橋市民を対象にした運動・スポーツに関するアンケート調査を実施しました。

「前橋市民の運動・スポーツに関するアンケート調査」について	
調査期間	令和3年12月中旬から1月中旬
調査対象者	令和3年11月1日現在、満18歳以上（成人）79歳以下の2,000人
抽出方法	住民基本台帳から無作為に抽出
調査方法	郵送またはWEBによる回答
回収率	33.3%（666人／2000人）

## ～「する」スポーツについてのアンケート結果～

問1「自分で行うスポーツ“するスポーツ”に関心がありますか」という質問に対しては「大いにある」「ある程度ある」の回答が69.8%あった。また、問2のスポーツ実施率に関する「過去1年間で運動やスポーツを行った日数は、どれくらいですか」という質問に対しては57%が週1日以上は運動・スポーツを実施しているという結果となった。一項目ごとにみると「月に1～3日」が19%と一番多く、次いで「週5日以上」が16%となった。

【参考】令和2年度にスポーツ庁が行った「スポーツの実施状況等に関する世論調査」では「成人の週1日以上スポーツ実施率は59.9%であった。

また、問3の「過去1年間で行った運動やスポーツは何ですか。」といった質問に対してはウォーキング（散歩を含む）が62%、体操（ラジオ体操、エクササイズ、ヨガなど）が29%となった。ウォーキングや体操は老若男女問わず実施することができ、個人でも始めやすいことから、実施率が高くなったと思われる。問3のその他回答はボルダリング（20代）、ゲーム（10代）、ビリヤード（70代）、モータースポーツ（20～50代）、スポーツ矢吹（70代）、総合格闘技（30代）、ボクササイズ（40代）等となった。

### ～「する」スポーツについてのアンケート結果に対する傾向～

- ・ “するスポーツ” の関心は 69.8% と高い
- ・ スポーツの実施率についても全国平均とほぼ変わらない
- ・ 過去1年間に実施したスポーツについてはウォーキングや体操は老若男女問わず実施することができ、個人でも始めやすいことから、実施率が高くなったと思われる。少数ではあるがビリヤードや総合格闘技など多様なスポーツを実施していることが分かった

### ～「する」スポーツについてのアンケート結果に対する課題～

- ・ スポーツ実施率をさらに上げる
- ・ 一人一人がスポーツを習慣化することの重要性を知る
- ・ 多様なスポーツを知る、触れる機会をつくる

## ～「観る」スポーツについてのアンケート結果～

問1の「テレビや競技場等で観戦するスポーツ“観るスポーツ”に関心がありますか」という質問に対しては「大いにある」「ある程度ある」の回答が 71.8% となった。

問2の「過去1年間に直接現地で観戦したスポーツは何ですか」の質問に対しては「野球」が13%、「サッカー」が10%となった。また、問3の「過去1年間にテレビやインターネットで観戦したスポーツは何ですか」の質問にたいしては「野球」が42%、「サッカー」が38%、「卓球」が26%となった。

問2問3その他の回答

総合格闘技（40代）、スケートボード（40代）、剣道（50代）、フィギュアスケート（20～50代）、モータースポーツ（40・50代）、ソフトボール（10・30代）、eスポーツ（30代）等

### ～「観る」スポーツについてのアンケート結果に対する傾向～

- ・“するスポーツ”と同様に“観るスポーツ”の関心も 71.8% と高い
- ・テレビ等でのスポーツ観戦に比べて、現地でのスポーツ観戦するひとが少ないのは現地までの移動やチケットの購入費用などのハードルの高さが原因だと思われる
- ・近年はテレビやインターネットなどで海外スポーツや新種目スポーツの放映も増えているため、年々関心は高まっていると思われる

### ～「観る」スポーツについてのアンケート結果に対する課題～

- ・現地でのスポーツ観戦する人を増やす
- ・“有名なプロスポーツ大会の誘致”や“適切な情報発信”など誰でもスポーツに触れることのできる機会を与える

### ～「ささえる」スポーツについてのアンケート結果～

問1の「ボランティア等で競技運営に参加する“支えるスポーツ”に関心がありますか。」質問に対しては「大いにある」「ある程度ある」の回答が25%となった。

問2の「過去1年間に運動スポーツに関するボランティア活動を行いましたか。」という質問に対しては「定期的に行った」「イベント・大会等で不定期に行った」の回答が9%となった。

問3の「そのボランティアは具体的にどのような内容ですか。」という質問に対しては「自身のお子さんが所属するスポーツ団体やクラブの補助的な活動」の回答が50%、「大会・イベントのスタッフ」の回答が32%となった。

### ～「支える」スポーツについてのアンケート結果に対する傾向～

- “支えるスポーツ”の関心は“するスポーツ”“観るスポーツ”の関心に比べると25%低く、また、ボランティア活動の実施についても9%とかなり低い結果となった。

### ～「支える」スポーツについてのアンケート結果に対する課題～

- “支えるスポーツ”の関心、ボランティア実施率を上げる
- ボランティア募集や重要性を知ってもらえる情報を提供する
- 関心の高いプロスポーツのボランティア募集にも力を入れる

### 3 スポーツ関係団体等について

#### (1) 前橋市スポーツ協会

##### 【基本目標】

体育・スポーツの普及振興に努め、もって市民の健康増進と体力の向上を図り、明るく豊かなスポーツ文化都市を実現することを目標としています。

##### 【重点活動】

競技団体、地域体育団体の組織を充実し、スポーツ協会への加盟を促進し、競技力の向上と地域スポーツの実践の活発化を図ること。また、各専門委員会の活動を促進し、スポーツ協会の一層の充実を図ること。

#### (2) スポーツ推進審議会

##### 【設置目的】

「スポーツの推進に関する計画の策定に関すること」、「スポーツの施設及び設備の整備に関すること」、「スポーツの指導者の養成及びその資質の向上に関すること」、「スポーツの事業の実施及び奨励に関すること」等を調査、審議することを目的としています。

##### 【構成】

審議会委員は12名（定数16名）の委員で構成され、学識経験者、関係行政機関の職員、公募による委員が委嘱され任期は2年となっている。

#### (3) スポーツ推進委員会

##### 【重点施策】

生涯スポーツの推進を重点に、子どもから高齢者まで行える軽スポーツを中心とした種目の普及・指導につとめている。「地域の体育・スポーツの振興」、「生涯スポーツの推進」、「地域体育組織の確立と育成」を重点施策としている。

##### 【構成】

スポーツ推進委員会は、市内24地区から推薦され、市長が委嘱した非常勤職員であるスポーツ推進委員108人で構成されている（令和3年3月31日現在：男性74人、女性34人）。

#### (4) スポーツ少年団

##### 【活動】

指導者を中心に児童、生徒のスポーツ活動を通して、心身ともに健全な青少年を育成することを目的とした団体である。活動の充実を図るために、指導者協議会の各専門部組織を確立し、連絡調整及び情報交換等を行っているほか、指導者の資質向上と団員の正しい活動の認識を図るため、指導者・保護者講習会を開催し研修等を開催しています。

##### 【令和2年度団員数】

14種目 138単位団 団員2,761人 指導者494人 役員・スタッフ153人 合計3,408人

#### (5) スポーツコミッションについて

前橋市及び周辺地域にあるスポーツ資源や特徴ある観光資源を活用し、スポーツに関する大会・スポーツイベントを誘致し、開催支援等を一元的に行うことにより、前橋市のスポーツの振興、経済活性化等を図ることを目的としています。

#### (6) ホストタウンについて

オリンピック等事前キャンプ地誘致活動としてホストタウン登録国（ハンガリー、スリランカ、コロンビア、ベラルーシ、南スーダン）及びベルギーと東京2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の直前キャンプ誘致に向けて、様々な誘致活動、各種調整等を行いました。

#### (7) プロスポーツ支援について

ふるさと納税を活用し、プロスポーツクラブの支援を行っています。

##### 【地元プロスポーツクラブ】

ザスパクサツ群馬

群馬ダイヤモンドペガサス

群馬グリフィン

バニーズ群馬FCホワイトスター

群馬銀行グリーンウイングス

群馬クレインサンダーズ

### 第3章 基本理念と基本目標

#### 1 基本理念

スポーツは、心身の健全な発達、健康の維持増進、達成感や爽快感といった精神的充足感の獲得など生活を充実させ、人と人及び地域との交流を促進し、地域の一体感の醸成や活力の向上を図るためには欠かせないものです。

全ての市民がそれぞれの興味、関心、適性等に応じたスポーツに親しむ社会的気運を醸成し、市民が誇りと愛着を持つことのできる活力と魅力あふれる地域社会の実現を目指します。



基本理念 候補 1

スポーツを通じて元気に  
誰もがチャレンジできるまち 前橋

基本理念 候補 2

## 2 基本目標

### (1) 5つの基本目標

前橋市はスポーツ推進条例の基本理念をもとに以下の通り、5つの基本目標をもとにスポーツ推進を行っていきます。

### 1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

全ての市民が生涯にわたって、自らの体力、年齢、技術、目的等に応じてスポーツに親しむことができるように努めます。

### 2 障がいのある人等のスポーツ活動の促進と環境整備

障害のある人が自主的かつ積極的にスポーツをすることができるよう、障害に応じて必要な配慮がなされるとともに、社会参加の推進に寄与します。

### 3 子どものスポーツの充実

子どもの心身の健全な発達並びに体力及び運動能力の向上を図ります

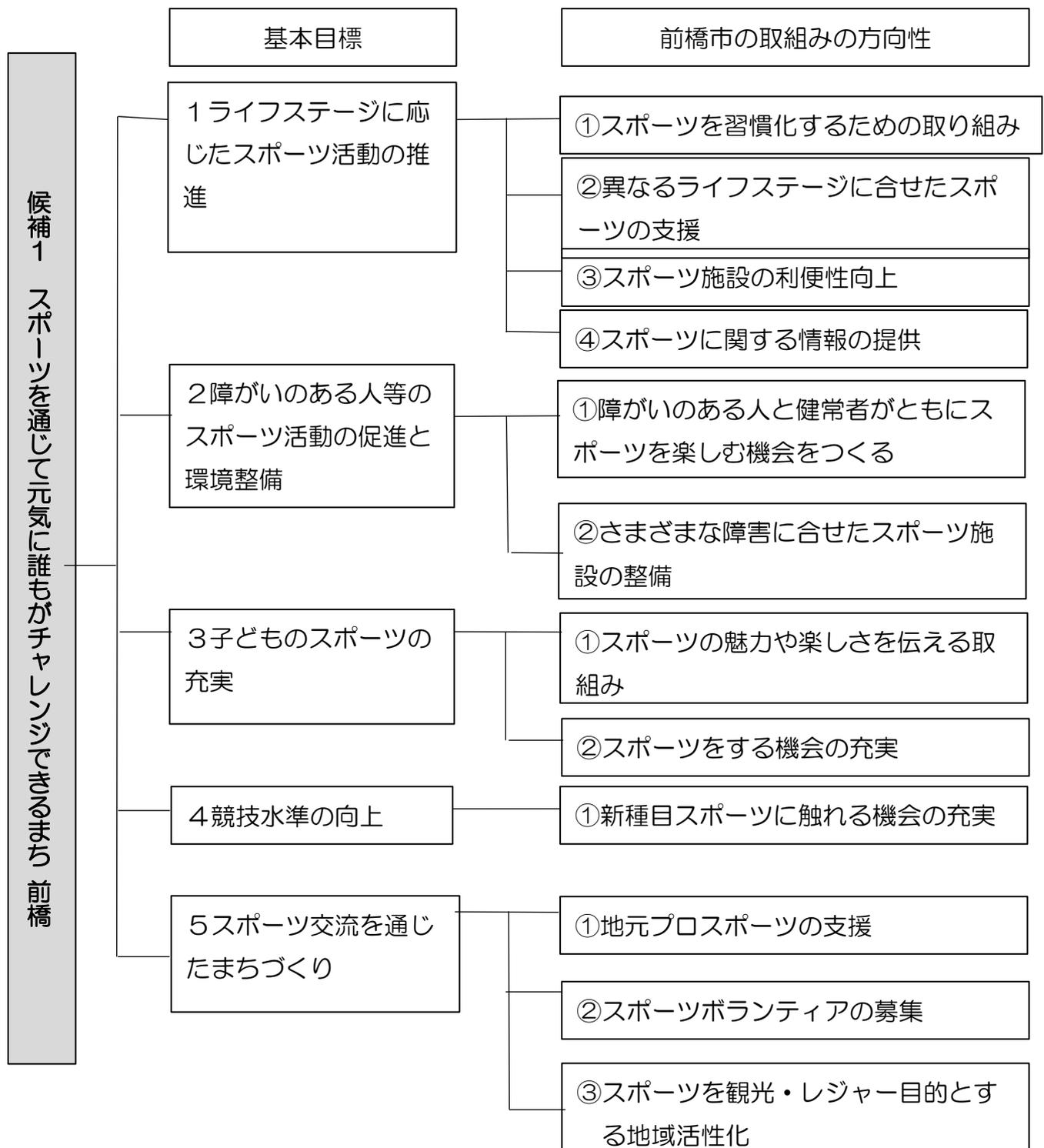
### 4 競技水準の向上

スポーツを通じた世代・地域間の交流の促進により、競技水準の向上を図ります。

### 5 スポーツ交流を通じたまちづくり

本市に関わるスポーツ選手及びスポーツチームの活動を応援する社会的気運を高め、地域の一体感の醸成及び活力の向上を図ります

(2) 前橋市の目指す5年後のスポーツの在り方



# (案)

## 第4章 施策の展開

### 1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ①スポーツを習慣化するための取り組み
  - ・スポーツ教室
- ②異なるライフステージに合わせたスポーツの支援
  - ・スポーツ推進委員
  - ・妊娠中や赤ちゃんパパママで参加できるスポーツ教室
- ③スポーツ施設の利便性向上
  - ・キャッシュレス化
  - ・SUP
  - ・キャンプ
  - ・ドローン
- ④スポーツに関する情報の提供
  - ・スポーツインスタグラム
  - ・HPからわかりやすくの情報発信
  - ・情報弱者に対しての情報提供

### 2 障がいのある人等のスポーツ活動の促進と環境整備

- ①障害者スポーツに接する機会の充実
  - ・障害者スポーツに関する情報発信
  - ・障害者スポーツの普及啓発活動
  - ・障害者スポーツを行う競技団体への支援
  - ・障害者スポーツ体験教室の開催
- ②さまざまな障害に合わせたスポーツ施設の整備
  - ・障害者が利用しやすいようスポーツ施設等のバリアフリー化の促進
  - ・障害者が利用しやすいようスポーツ施設使用料等の見直し

### 3 子どもスポーツの充実

- ①スポーツの魅力や楽しさを伝える取組み
- ②スポーツをする機会の充実
  - ・幼児の体力向上の推進
  - ・小・中学校の体育に関する活動の充実

# (案)

- 運動部活動の充実
- 子どもを取り巻く地域のスポーツ環境の充実
- スポーツ少年団の推進

## 4 競技水準の向上

- ①新種目スポーツに触れる機会の充実
  - スポーツ競技団体の支援
  - スポーツ施設の有効活用（スケートボード）
  - トップレベルに触れる機会の増
  - プロスポーツ観戦の機会の充実

## 5 スポーツ交流を通じたまちづくり

- ①地元プロスポーツの支援
  - 本市に関わるスポーツ選手及びスポーツチームの活動の応援
  - ホームタウンチームの魅力向上、情報発信
  - トップレベルに触れる機会の増（再掲）
  - 地区体育協会（スポーツ協会）への支援
  - スポーツを通じた国際交流の促進
- ②スポーツボランティアの募集
  - スポーツボランティア
- ③スポーツを観光・レジャー目的とする地域活性化

# (案)

## 第5章 役割と進行管理

### 1 推進体制

市民が主体的にスポーツを楽しみ、スポーツが生活の一部となり新しいことにチャレンジできるように市民、地域、スポーツ団体、学校、行政等が連携・協働して計画を推進していきます。

#### 市民・団体・企業・行政の役割

##### 市民

- ・スポーツ行事・大会等への参加
- ・ボランティアなどの協力
- ・スポーツ情報を積極的に取り入れ、活用する
- ・スポーツを生活に取り入れるとともに適切な食生活を心掛ける
- ・スポーツを通してルールを守り、お互いを思いやる

##### 団体・企業

- ・誰もが気軽に参加できる、スポーツ教室等の開催
- ・関係団体と連携した大会支援
- ・スポーツを通じた国際交流事業への参加・協力
- ・地元スポーツクラブとの連携・協力
- ・スポーツ指導者の資質向上のため育成を行う

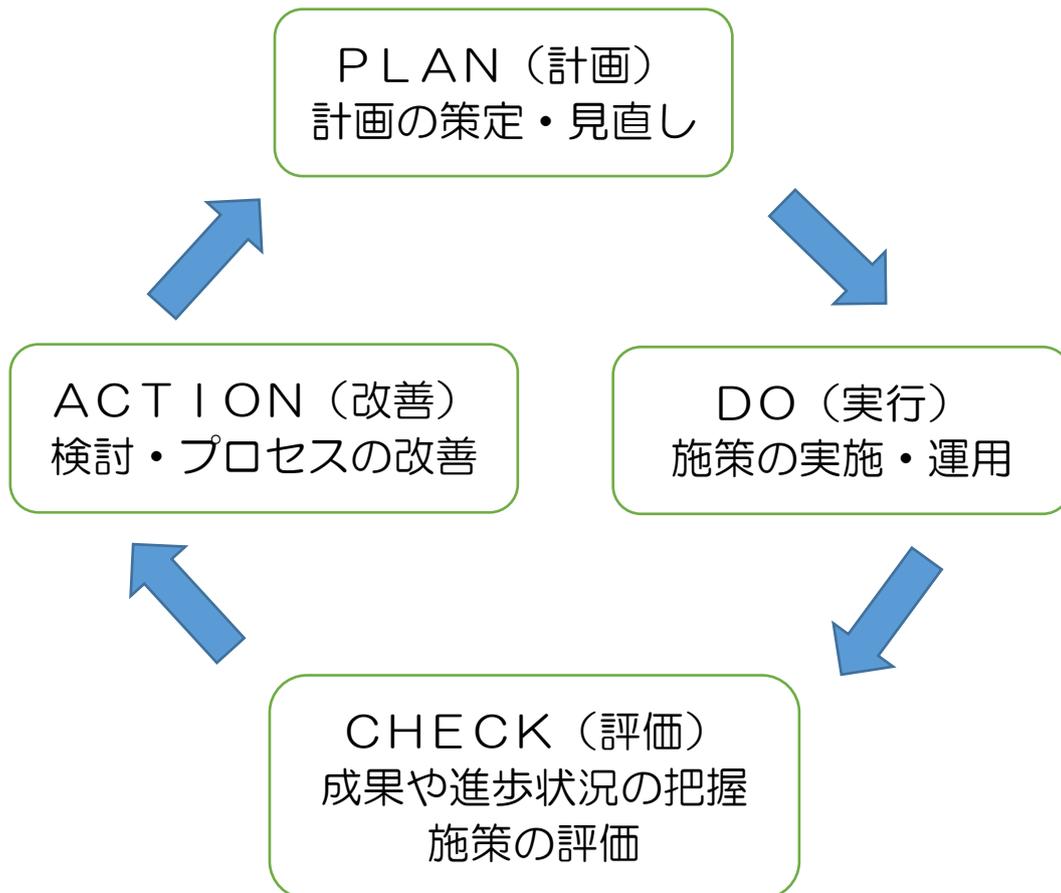
##### 行政

- ・スポーツを通じた国際交流事業の実施
- ・市民がみて楽しめるスポーツ大会の誘致・開催の支援
- ・スポーツボランティアの関する意識の啓発や参加機会の拡大
- ・優れた資質をもった人材の発掘と育成
- ・誰もが使いやすいスポーツ施設にするようバリアフリー化を目指します

# (案)

## 2 進行管理

本計画の推進にあたっては、市民や前橋市スポーツ推進審議会における意見をふまえながら、PLAN（計画の策定・見直し）、DO（施策の実施・運用）、CHECK（施策の評価）、ACTION（検討・改善）によるPDCAサイクルの手法に基づき進行管理を行っていくこととします。



# (案)

★資料編

市民アンケート結果

市内のスポーツ施設

計画策定スケジュール

スポーツ推進審議会メンバー